



ニュースレター

2023年（令和5年）4月13日 グリーフワークかがわ広報部

子どものグリーフワーク週間街頭キャンペーン 活動報告

今年も子どものグリーフワーク週間に合わせて3月12日（日）に街頭キャンペーンが行われ、私も去年に引き続き園児の息子と参加しました。風はまだ冷たさが残るものの、日向に出ると日差しが強いと感じるほどの陽気で様々な目的の人々が行き交っていました。同じく活動を行う他団体の方々もいたため、昨年とは少し場所を変えて活動を行いました。変わったのは場所だけではありません。去年はたくさん参加していた子どもたちがおらずうちの子だけ。また、テレビ取材があったことも大きな変化でした。



去年はちびっ子が大活躍だったので今年も子どもパワーにあやかろうとした当初の思惑は見事に打ち砕かれ、息子もお友達がいなかったために最初は全然乗り気ではありませんでした。

しかし、テレビカメラを向けられたり、声掛けをしてチラシを受け取ってもらえたりするのが楽しくなってきたのか、途中からは自分で積極的に声をかける姿が見られて頼もしく思いました。

私も負けるまいといろんな方々にお声かけさせていただき、子連れの親子やおじいちゃんおばあちゃん世代の方の方が比較的耳を傾けてくれた様に思います。

また、テレビ取材の方々には、少しだけ撮って終わりなのかと思っていたら、結局最初から最後まで取材をしていただいたことにビックリしました。

夕方方のニュースの中で私たちの活動の様子や活動の内容を紹介してもらえたことは小さなことかもしれないけど、大きな進歩だと感じました。

まだ世の中に浸透しているとは言い難いグリーフワークという考え方や取り組みをテレビ取材や街頭キャンペーンのチラシを通じて一人でも多くの方々に知ってもらいたいと思いました。喪失を含む心の中で起きていることは本人以外に知りようがありません。本人すら気づいていないことが殆どです。ましてや子どものグリーフには本人ではない周りの大人の注意深い気づきが必要になります。まずは気づいてもらうた



めにもグリーフという認識を持ってもらえるよう今後も活動を続けていきたいと思ひます。

認定グリーフワークカウンセラー 恒石 抄恵

【技術援助事業】

香川県ゲートキーパー普及啓発事業 かがわ子育てひろば連絡協議会 報告

2023年3月2日(火) NPO 法人いのちの応援舎 1F 多目的ルームにおいて、県内の子育てひろばの現場職員を対象とする香川県ゲートキーパー普及啓発事業が行われ、当法人から講師として杉山洋子、ローマ真由子が派遣された。

本事業の目的について協議を行った中で、近年、人と人がふれ合う機会が減少し、子育て家庭の孤立が進む中、親子が気兼ねなく集いつながりあうことの出来る場が求められていること、子育て広場は人が人を迎える場であるために悩む場面も多く、職員一人ひとりのコミュニケーション力、受け止める力が大切であることが確認された。

最初に、香川県精神保健福祉センター村上さんから、香川県精神保健福祉センターについての説明とゲートキーパーの意味と役割、香川県の自殺者数、香川県の自殺対策について説明があった。次に、当法人杉山から、グリーフワークかがわについて活動の原点を語り、対象喪失と悲嘆の過程について述べた。喪失は暮らしのなかにあることと、自殺は限られた場面ではなく私たちすべての日常の心の動きとして起こりうることを伝え、ゲートキーパー養成とグリーフワークとの関連性について触れた。

演習を中心に行うこととし、演習担当のローマが、前置きを敢えてせずに、まず受講者が各々自分の人生の喪失を振り返る時間を作った。そのあと、3、4人のグループを作り、「喪失を振り返る作業をとおして、今気づいたこと」を話し合ってもらい、グループごとに発表を行った。自分の人生をあらためて振り返る機会になったことや、仕事上で新しい環境になるときの不安感、子育てひろばに集まってくる母親が心に抱えていることについて、意見交換があった。ローマから、どう声を掛けたらいいかは、自分ならどう声をかけてほしいかを考えるとヒントがあること、そして、一人ひとりがいろいろな経験を自分の歴史として受け入れ、誠実に向き合ってきたからこそ死なずに今ここに生きているのであり、答えは喪失史にあるかもしれないと述べた。

自分の人生を受け入れることで相手の話を聴ける姿勢がつけられること、自分を受け入れることが自分を労うことになることと結んだ。

(文責：杉山洋子)

報 告

◆2023年3月12日 第182回理事会◆

《審議事項》

第1号議案 2月末現在の会計に関する事項

事務局から2月末現在の会計報告を行い了承された。3月17日に岡山NPOセンターのコンサルテーショ

ンを受ける予定となっている。

第2号議案 認定カウンセラーの発言に関する事項

聞き取りの結果報告を受け、対応を決めるとともにリスク管理を確認した。

第3号議案 グリーフワークかがわ事業の見直しに関する事項

第181回理事会第6号議案，2月の認定カウンセラー会議での議論を踏まえ，各事業について課題をまとめ，事業計画，予算を検討していくこととし，4月への継続審議とすることで了承された。

第4号議案 2023年度傾聴ボランティア養成講座の講師派遣に関する事項

香川県社会福祉協議会から標記依頼の打診があり，講師派遣にあたっては勉強会を行い講師を選定すること，理事長から香川県社会福祉協議会に連絡することで了承された。

第5号議案 喪失を経験した子どもの親，保護者のグループ「ひまわりミーティング」実施要領の策定に関する事項

審議未了。

第6号議案 次期役員体制に関する事項

審議未了。

「グリーフカウンセラー資格に関するアンケート」調査結果について

2022年度グリーフワークかがわ資格認定委員会

資格認定委員会では，グリーフワークかがわの会員を対象として，認定グリーフカウンセラー資格の保持に関する意識を調査することを目的としてアンケート調査を実施いたしました。調査は，2023年1月21日～2023年2月11日の期間に，グリーフワークかがわメーリングリストに登録されている方74名を対象としてgoogleFormsを用いたWeb回答形式で行い，26名の回答が得られました。結果についてご報告いたします。

今回の調査では，認定カウンセラー有資格者での回答が多く（92,3%）で，ほとんどの方が，「グリーフワークかがわグリーフカウンセラー制度規則」について知っていました（96.2%）。会議への参加や議事録，HPなどで知っている方が多く，特に新入会の方は入会時の資料として郵送されたものでご存知の方が多かったようです。資格認定規則変更にとまなう資格更新申請の経過措置については，まだ知らなかった方が一定数おられました（23.1%）。グリーフカウンセラーの認定更新については「特定非営利活動法人グリーフワークかがわグリーフカウンセラー資格施行細則」第28条 別表3により所定の単位を取得するポイント制へと移行予定ですが，次回の資格更新する予定である人が60%，未定の方が36%でした。

コメントまたはご質問（自由記述）では「活動できる時は参加したいですが，たまに参加すると浦島太郎状態な感じになってしまう。」などの意見が寄せられています。グリーフワークかがわでは，相談事業だけではなく，定期的な研修，認定カウンセラー会議，公開セミナー，街頭キャンペーンなど普及啓発事業，人材育成事業など多くの事業をおこなっています。またそれらに付随する準備や発送作業なども随時参加呼びかけを行っております，認定カウンセラーとしての活動を継続したい方，グリーフワークの実践的知識をより深めたい方も，引き続き参加可能な事業に積極的にご出席ください。アンケートにご協力いただきありがとうございますございました。

5. グリーフカウンセラーの認定更新については「
特定非営利活動法人グリーフワークかがわグリーフ... (ポイント制) となっているのはご存じですか？」
26件の回答

